

「うちどく」通信～2018.4～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

毎月7日は筑南小うちどくの日。うちどくとは、家庭で読書を楽しみ、また、おうちの方とコミュニケーションを図りましょうという取り組みです。うちどくを12ヶ月忘れずに提出できたら、修了式で表彰するので、ぜひがんばって下さい。

※一年生は、5月7日から開始します。保護者の皆様、ご協力よろしくお願ひいたします。



2年 とわ 『風のゆうびんやさん』竹下文子 (きょうかしよ) Eタ 聞いた人：お父さん

とわ：かぜのゆうびんやさんが、あげはちょうからくもさんまでゆうびんをとどけた。

お父さん：風のゆうびんやさんが、虫や動物にゆうびんをくばっていくが、それぞれのとくちょうに合った手紙をわたしていくところがおもしろい話だと思いました。

2年 りょうすけ 『おいしいのぼうけん』ふるたたるひ (きょうかしよ) Eフ 聞いた人：お母さん

りょうすけ：こわかったです。一ばんこわかったのは、おいしいにいれられるところでした。

お母さん：2年生になってはじめてのうちどくは、長いおはなしを読んでくれました。とちゅう、何度も読むのをやめようとしたのですが、なんとかがんばることができました。

3年 せな 『ルルとララのわくわくクレープ』あんびるやすこ 913ア 聞いた人：お母さん

せな：ルルとララが、フィオナのそうだんをきいて、ぶじにクレープがつくれてよかったなあと思いました。

お母さん：お友達と協力して一つのことを頑張ってやりとげられ、良かったと思いました。本を読んで学んだことを、普段の生活で活かしていってくればなと思います。

3年 えいしん 『おたすけこびとのまいごさがし』なかがわちひろ Eナ 聞いた人：お母さん、妹さん

えいしん：こびとなのに、あんなに大きいねをつかまえるなんてすごいです。

お母さん：ねこが大きく感じました。小さな世界の絵がとてもかわいかったです。

4年 まさき 『おおきな木』シェル・シルヴァスタイン Eシ 聞いた人：お父さん

まさき：木は、少年が言うてくることをなんでもしてくれるのでやさしいと思いました。でも、最後は少年に、木のみきや葉やえだをあげたのできりかぶしか残っていなかったけど、少年がすわってくれたのでよかったと思いました。

お父さん：大好きな少年のために、おおきな木は自らを与え続け、そのたびに幸せだと感じていました。与え続ける木と、与えられ続ける少年、それぞれは異なる方向を向いていると思われたのが、最後は同じ方向を向くことができたのでは…。やさしい文章ですが、内容はなかなか奥深いものがありました。もう少し、よくよくをつけて読めればよかったです。

4年 そら 『ヨセフのだいじなコート』シムズ・タバック (きょうかしよ) Eタ 聞いた人：お母さん

そら：さいごのなんにもなくなったところがおもしろかったです。そして、コートをいろんな服に変えてすごいなと思いました。

お母さん：だいじにしていたコートをリメイクしてジャケットにつくりかえ、どんどん小さくなりながらも、ネクタイ、ハンカチ、ボタンへと…。一つのものを大事に使うことの大切さが分かる本でした。

【4/9 提出分】

提出数/人数 (欠席)

2年	23/23	☆GOOD☆	5年	25/25	☆GOOD☆
3年	13/19		6年	20/20	☆GOOD☆
4年	19/20		全校	100/107	(1年生を除く)

5年 あきお 『絵本図鑑シートンどうぶつ記1オオカミ王ロボ』

アーネスト・T・シートン 48シ 聞いた人：お母さん

あきお：はい色のオオカミと茶色のオオカミがわなにかかって、牧場に行って最後のオオカミが言った、「ブランカ、またいっしょになれたな」の言葉がちょっと悲しかったと思いました。

お母さん：毒をぬった肉や、わなにかからないところは、すごく頭がいいんだなと思いました。

5年 ゆう 『100万回生きたねこ』佐野洋子 Eサ

聞いた人：おばあさん、弟さん

ゆう：100万回生きたいと思ったけど、100万回も死んだということだから100万回も生きなくていいなと思いました。

おばあさん：だれと生きてもいつも可愛がられて幸せなネコですね。でも、白いネコと暮らしたときが一番幸せそうでした。

6年 ひまり 『ありがとうともだち』内田麟太郎 Eウ

聞いた人：お母さん

ひまり：オオカミは、キツネにカジキをつってじまんしたかったのかなと思ったけど、キツネをどなったとき、イライラしてどなったかと思ったら、キツネにカジキをやりたくてごめんと言ったのかなあと最後思いました。いろいろな気持ちがつまっている本でした。

お母さん：オオカミは、大きなカジキを釣ったことがあるとキツネにうそをつき、海釣りに連れて行きましたが、とうとうカジキは釣れず帰ろうとしたとき、キツネがオオカミにお礼を言います。「海に連れてきてくれてありがとう！とてもすてきな海釣りができたよ！」キツネのやさしさにオオカミはびっくりしました。すてきな友達に出会えたオオカミは幸せ者です。友達は一生の宝ですね。

6年 けいいちろう 『ポケット詩集』田中和雄 K911ホ

聞いた人：お母さん

けいいちろう：宮沢賢治の「雨ニモマケズ」など、とってもおもしろいものでした。まだたくさん読んでみたいと思います。この本は、ぼくのお気に入りです。

お母さん：短い文なので、作者の考えや伝えたいことが分かりにくいところもあり、「どういう意味？」と聞かれても難しいところが多かったのですが、幼いなりに感じることもあったと思います。